

福井



めざす子ども像
豊かな心を持った子
進んで学ぶ子
最後までやりぬく子

〒684-0404
海士町福井 412
TEL08514-2-0750
FAX08514-2-0790
Mail
fukui0750@gmail.com

いい声、いい顔、いい汗

小体連バスケット大会



初めは、ボールが手に付かず、なかなか声も出ず、どうなることかと思いましたが、ところが、海士小や西ノ島小との練習試合を契機に、意欲を増して、休憩時間にも練習するようにになりました。目標を持って練習を重ね、アドバイスをしっかりと聴くことで、技に磨きがかかっていきました。ナイスシュートや「ホンマイ」の言葉を掛け合うことで仲間との絆も深まっていきました。

当日も全力でプレーをし、ベンチや二階のギャラリーから大きな声で応援して、チーム福井、みんなががんばりました。男女ともに優勝という目標に向かってがんばっていました。女子も男子も惜しくも三位という結果に終わりました。

いい声、いい顔、いい汗
六月二〇日に知夫小中学校の体育館で第四二回島前バスケットボール大会が行われました。
この日に向けて子どもたちは、キャプテンの虎伯さんと真緒さんを中心に、放課後遅くまで一生懸命に練習してきました。練習で大切にしてきたことは、今年も「めき・な」です。

一、めあてを持ち一直線にがんばる
一、きんごうで、どんどん伸びていく
一、ななまを信じてプレーする

子どもたちは、日に日に、自分が高まっていくのを感じ、チームで声を掛け合うことを喜び、バスケットを楽しんでいたように見えます。本番の試合の中でも、苦しいとき、コートの中で、声を掛け合う姿が男女ともに見られました。自分たちで、守備の位置を確認する場面もありました。言われて動くのではなく、自分たちで動ける。これが今回の子どもたちの成長です。ここでの経験が、今後の生活のどこかで、何かにつながってほしいものです。応援ありがとうございました。次の体育的行事は、秋の島前陸上です。
(文責 稲葉)



サツマイモ苗差し

毎年恒例の活動として定着してきたたてわり班による芋の栽培活動。子ども達も活動の手順に慣れてきたので、今年は六年生のリーダー性を発揮する場として生かそうと、準備の段階から六年生に裏方としての役割も増やして取り組んできました。

敵つくりとマルチかけは、これまでも五・六年生の力を借りてきましたが、芋の苗さしの当日に必要な道具をたてわり班の人数に合わせて揃えたり、苗さしの仕方を下学年に教えたりすることも、教員の手から六年生の手へと委ねました。

当日までに担当教員のもと、打ち合わせを重ね、準備をしましたが、下学年に説明したり、活動を促したりすることはイメージしていたよりも難しいようでした。それでも、なんとかしようかとがんばる六年生の

姿に、たてわり班のリーダーとしての意識の芽生えを感じました。
ちょうど夏を思わせる太陽の日差しが続く頃でしたが、それぞれの班の水やり順番による水やりの仕事も成し遂げ、二週間もすると、多くの苗がシャキッと頭を持ち上げました。
これから日に日に伸びてくる夏場の草ぬきにも、もうひと手間かけて、秋の収穫を楽しみにしたいと思います。
(文責 山下則)



校内マラソン大会

六月五日に、校内マラソン大会を行いました。一年生にとっては初めてのマラソン大会でした。

今回のマラソン大会では、多くの児童が新記録を出すことができました。日頃の朝マラソンの成果が、記録更新につながったと感じています。当日は保護者の皆様の応援もあり、児童たちも張り切って走ることができました。ありがとうございました。

各学年の優勝者は次の通りです。

- 一年男子 池田和嗣 女子 飯森心胡
 - 二年男子 河内朝登 女子 塔本 結
 - 三年男子 山崎勇介 女子 永原莉子
 - 四年男子 塔本 善 女子 宇野璃音
 - 五年男子 青山光輝 女子 福井美空
 - 六年男子 澤井虎伯 女子 梅野凜香
- 二学期には、海士町小中マラソン大会がある

校内俳句教室

承久の乱に敗れた後鳥羽上皇は海士町へ配流され、お亡くなりになられる間に沢山の和歌をこの地に残されました。歌聖としての後鳥羽院の陵を全国の多くの歌人・俳人の方たちが訪れ、町でも俳句大会、吟行ツアーなどが行われています。

学校でも、俳句を創作する活動を通して、自然を五感で感じ、感じたことを言葉で表し、自然に対する感覚を磨くことをねらい、六月一七日に俳句教室を行いました。
講師として、知夫村の鹿島洋さんを招き、創作中の助言や出来上がった作品の寸評をしていただきました。

低・中・高学年ごとに二句ずつ優秀作品を選考しました。入賞作品と全校児童の作品は以下の通りです。
(裏面(続))



ります。大会に向けて、日々体力作りに励んでほしいです。
(文責 赤澤)





俳句大賞

低学年の部

あかてがに いたよおうちに かくれてた

川井 琥太郎

ひるがおが ひつとふたつ さびてたよ

塔本 結

中学年の部

アカテガニ なんでもはさむ

ハンターだ

永原 莉子

アメンボは 水を歩いて

どこへ行く

竹谷 瑠香

高学年の部

初夏の空 子どもの歌の

すきとおる

井上 琴音

花火上げ 星も合わせて

キラキラだ

濱田 真緒

【1年生の作品】

なつやすみ いっぱいあそべ おおはしゃぎ

飯森 心胡

あかてがに どうろでたたかい

ふまれたよ

池田 和嗣

あかてがに つかいはさみに きをつけろ

岡本 太郎

あじさいが おおきくなるよ

どんどんと

篠原 凜

あじさいが きれいにさいて

かわいいね

竹谷 愛理

あかてがに せなかをとるのが

むずかしい

戸嶋 大翔

さくらのは いっぱいあるよ

すずしいな

藤田みずな

あじさいが むらさきいので

うれしいな

道川 季歩

あさがおのはつばがのびて

そだつたよ

吉田 響月

【1年生の作品】

そだてよう イローアイコ

おいしいそう

荒銀 愛那

うみの中 さかなは見える

黒いかけ

大海 匠

のいちごが すくて赤くて

おいしいよ

岡本 日向

ピーマンの なえが大きく

なっている

濱田 雪乃

ミニトマト 大きくなったよ

おいしいよ

真野あかり

※河内朝登くんは、欠席でした。

【2年生の作品】

夏の海 水がつかたい

入りたい

荒銀 聖那

夏みかん 木になっていて

とれないよ

梅野 航輝

あかてがに 夏休みに

つかまえた

川井 愛唯

アカテガニ 親子そろって

つかまるよ

竹谷 真結

夏の海 岩場でいっぱい

ニナとり

中村 詩

ドクダミの 花のおいは

くさいんだ

久村 理智

アカテガニ いろいろはさむ

こわいんだ

福井 美里

アカテガニ ぼうをつかんで

離れない

山崎 勇介

【4年生の作品】

夏の森 どんな生きもの

いるのかな

井上 和輝

夏がきたら ぜったい食べる

スイカをね

宇野 璃音

メロンの芽 メロンになったら

食べたいな

河内 理仁

水でつぼう 相手に当てる

気持ちいい

新谷 育海

夏の海 きらきら青が

きれいだな

塔本 善

二学期には、小中合同俳句大会も計画しています。今後も、俳句活動を通して子どもたちの感性を高めていきます。(文責 教頭)

学校と地域の連携①

子どもの教育は、学校や家庭での教育だけでなく、社会の様々な世代の様々な主体が、多様な形で教育に関わることで、働くことや自立すること、社会への参画、文化の伝承など、多様な姿を子どもたちに示すことができ、生きる力が高められていきます。

子どもの教育環境を充実させるためには、学校、家庭、地域それぞれの教育機能の充実に努めるとともに、相互の連携を強化し、学校・家庭・地域が一体となり、地域ぐるみで子どもの教育に取り組むことが重要と考えます。

本校では、様々な教育活動において地域講師を招聘した学習や地域に向かいの学習など、地域と関わった学習になるよう心がけています。また、町当局をはじめ、教育委員会、校区協議会、ボランティアグループなどたくさんの方々から多大な支援も受けながら日々の教育活動を推進しています。五・六年生は、五月二日に保々見の岩ガキ工場へ行き、岩ガキの収穫体験をしました。



子ども達が三年生の社会科学習の際、種付けをした岩ガキを船に乗って引き揚げました。帰りには岩ガキをたくさんいただき、子ども達は家庭に持ち帰りました。この岩ガキの種付け・製造過程の見学や収穫体験は大脇安則さんの「厚意で毎年行っています。子ども達には、岩ガキにかける大脇さんの熱い思いや出荷できるまでの苦労を肌で感じてもらいたい」とも、素晴らしい岩ガキができる豊かな自然に誇りをもつほしいと思います。(文責 教頭)

プロジェクトチーム始動

福井小学校の目指す子どもの姿は、①豊かな心を持った子(ハートアップ) ②進んで学ぶ子(学力アップ) ③最後までやりぬく子(パワーアップ)の三つです。この子どもの姿に近づけるために、それぞれのプロジェクトチームを結成しました。そして、定期的にPJチームで集まり、活動計画を策定し、実践をしています。

六月十八日には、パワーアップPJが計画した元氣アッププログラムを行いました。これは、島根県教育委員会が、子どもたちの体力向上を図るために、島根の地名を生かした運動プログラムを作ったものです。隠岐の牛突き、壁突き、松江城、忍者の八の字跳びなどです。これらの運動を年間を通して継続して行おうと考えています。



記録は、教育委員会のサイトに申告し、他の学校と競争できる仕組みのため、子ども達の意欲を維持・向上させやすくしています。また、縦割り班も活用することで、異学年の交流・結束にもつなげようと考えています。(文責 教頭)



七・八月の主な行事

七月

- 一日(水) 計画訪問指導(三・四年生国語)
- 二日(木)~四日(土) ※通学入道四年生
- 七日(火)~一日(金) 個人面談
- 九日(木) 七夕読み聞かせ
- 一〇日(金) 漢字検定
- 一日(土) ※らびっ子ソフトバレー教室
- 一七日(金) 一学期終業式
- 二七日(月)~八月一日(土) ※アドベンチャーキャンプ

八月

- 二三日(土) キンヤモモヤ祭り・パレード参加
- 二五日(火) 二期始業式
- 二八日(金) 陸上指導根本先生来校



着々と進む校舎建築 6月29日

※紙面の都合上五・六年生の作品は次号掲載します。